

I-2 新幹線開業対策 芦原温泉駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・芦原温泉駅の二次交通や情報発信機能、物販・宿泊等の商業機能の拡充
- ・東尋坊、あわら温泉に続く観光拠点の創出(吉崎御坊、北潟湖、丸岡城など)
- ・農業用水路のパイプライン化を活かした農業や園芸の拡大

情緒あふれる温泉街の形成 (P18)

大正から昭和初期の風情を感じる温泉街の散策環境を整備

- ・「芦湯」や藤野巖九郎記念館の整備
- ・石畳歩道や行灯型街路灯の整備 など

東尋坊の環境整備 (P20)

「環境共生」を基本理念とした持続可能な東尋坊エリアの形成

- ・駐車場一元管理に向けた整備
- ・観光拠点施設の整備(ビジターセンター、交通ステーション等)
- ・商店街活性化の推進
- ・散策路の整備
- ・アクティビティの形成

三国湊のまちづくり (P21)

三国湊の歴史・文化の発信、空き町家を活用した古い町並みの再生

- ・古民家ゲストハウスやアーバンデザインセンター坂井等の整備
- ・三国駅改築・広場整備
- ・みくに龍翔館のリニューアル など

公共交通の拡充

- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ

越前海岸の周遊観光ルート化【再掲】

広域道路の整備促進

- ・国道8号 福井・石川県境部(牛ノ谷道路、金津道路 福井バイパス)
- ・三国東尋坊芦原線
- ・福井港丸岡インター連絡道路 など

吉崎周辺の活性化 (P19)

市北部の拠点となる道の駅を整備

- ・駐車場やトイレ、地域振興施設等の整備
- ・吉崎江公園の改修 など

芦原温泉駅の周辺整備 (P17)

芦原温泉駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・交流拠点施設「aキューブ」の整備
- ・西口・東口広場、立体駐車場の整備 など

丸岡城周辺の周遊化・まちづくり (P22)

- ・丸岡城周辺のまちなみ整備
- ・丸岡バスターミナル周辺整備 など

パイプライン活用型の農業・園芸拡大 (P23)

- ・米や園芸生産物の生産拡大
- ・福井県立大学創設農学科の開設 など



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開業)	2024 (R6)	2025 (R7)
芦原温泉駅	鉄道・運輸機構 約61億円	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験運 転等		
	あわら市 約20億円	芦原温泉駅西口賑わい施設(賑わい空間)等の整備									
	県・あわら市 —	西口アクセス道路、東口アクセス道路、東西自由通路、芦原温泉停車場線、芦原温泉停車場北野線の整備									
	あわら市 —	西口交通広場、東口交通広場、西口立体駐車場の整備									
東尋坊・三国港	県 —	三国東尋坊芦原線 (三国町崎～梶)									
	県・坂井市・民間 —			東尋坊活性化検討	東尋坊再整備計画	東尋坊再整備					
	坂井市 約1億円	町家活用(旧大木道具店、アーバンデザインセンター坂井)									
	坂井市 —	みくに龍翔館のリニューアル									
	坂井市 —	三国駅改築および広場整備									
坂井市 —	観光地における外国人受入環境整備(外国語表記や公衆無線LAN環境、トイレ洋式化)										
あわら温泉	あわら市 約2億円	街路整備									
	あわら市・民間 —	温泉街における外国人受入環境整備(外国語表記や公衆無線LAN環境、キャッシュレス化)									
吉崎エリア	あわら市 —					道の駅基本計 画策定	基本設計 実施設計				
	県・あわら市 約6.2億円							道の駅整備	供用開始		
	あわら市 約0.2億円							吉崎汀公園改修			
	あわら市・民間 —	吉崎小学校利活用計画	吉崎小学校利活用検討	全天候型遊戯施設開設							

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
丸岡城	坂井市 — 坂井市 約6億円	丸岡城周辺の整備									
		丸岡バスターミナル周辺の整備									
広域	県 約3.9億円 — 県 — 県・国 —	福井県立大学創造農学科の開設									
		パイプライン活用による農業・園芸拡大									
		広域道路の整備促進									

1-2 (1) 芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり

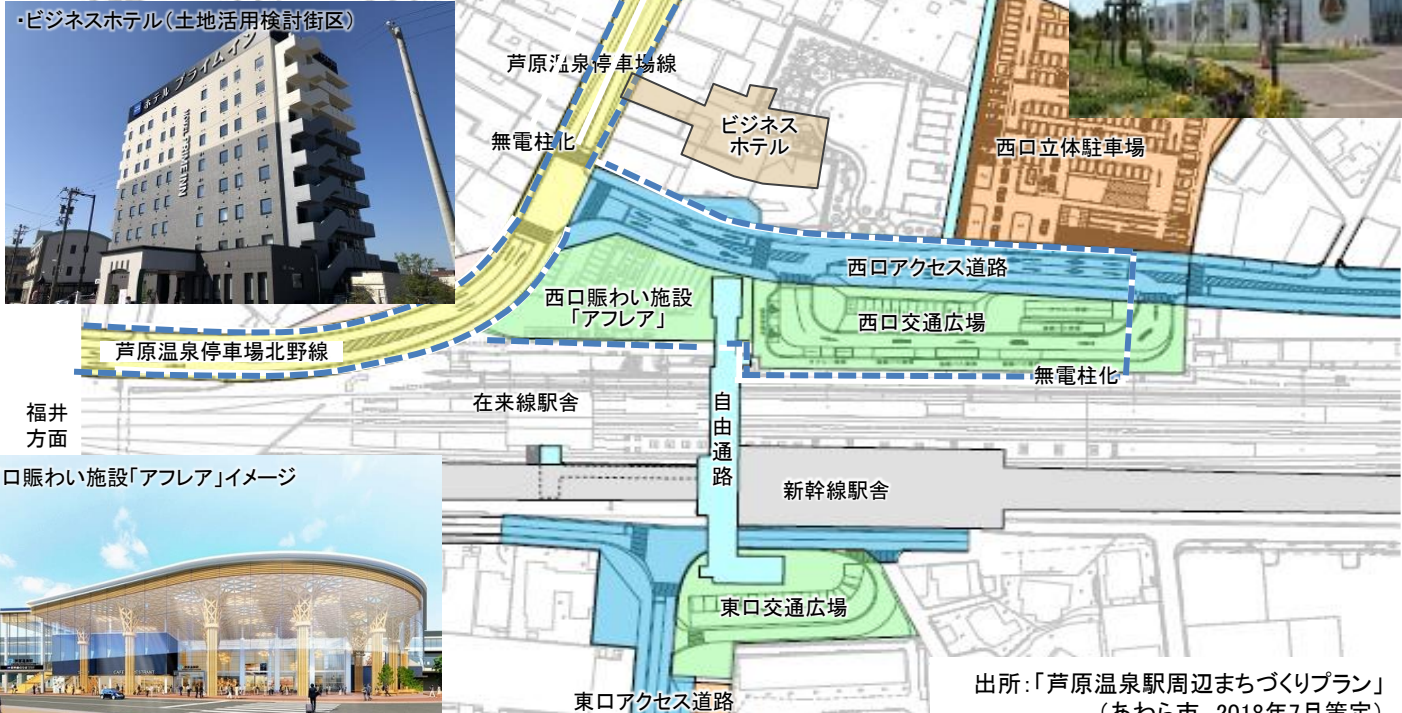
主体	県・あわら市	場所	あわら市
事業費	約73億円	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・「aキューブ」、ポケットパークの整備(市、2014) ・現駅構内のエレベータ設置(JR、2015) ・駅周辺整備基本計画の改定(市、2016) ・新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) ・駅周辺まちづくりプランの策定(市、2018) ・西口立体駐車場の整備(市、～2021) ・新幹線駅舎の整備(機構、～2022) ・西口賑わい施設、西口交通広場、東西自由通路の整備(市、～2022) ・アクセス道路の整備(県・市、～2022) ・ビジネスホテルの建設(民間、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東口交通広場、アクセス道路の整備(市、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺観光地との二次交通の充実 ・駅周辺の賑わいの創出

福井県の北の玄関口にふさわしい芦原温泉駅を整備するとともに、東西広場やアクセス道路、周辺観光地との二次交通の充実など、地域交通の拠点化を進めます。

新幹線駅舎デザインコンセプト「あわらの大地に湧き出る贅の駅」
駅周辺まちづくりコンセプト「和心あふれる賑わい空間」

・ビジネスホテル(土地活用検討街区)



○ 2023年度実施事業【あわら市】
 ・東口交通広場、アクセス道路整備 等
 (芦原温泉駅周辺整備事業 30,000千円)



金沢方面

福井方面



出所:「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」
 (あわら市 2018年7月策定)

1-2 (2) あわら温泉街のまちなみ形成

主体	あわら市	場所	あわら市
事業費	約2億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・藤野巖九郎記念館、伝統芸能館の整備(市、2011) ・「芦湯」の整備(市、2013) ・駅前ポケットパーク、駅南口駐車場整備(市、2014) ・温泉南北線・東西線の歩道の石畳化、行灯型照明の整備(市、2016) ・あわら湯のまち駅公衆便所の整備(市、2021) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あわら温泉・永平寺間の特急バスの運行(市・民間、2017～) ・宿泊施設における受入環境の整備(県・市町・民間、2019～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏・インバウンド客向けの観光プロモーションの推進 ・あわら温泉の観光資源の磨き上げに資する環境整備

まち歩きが楽しめる北陸随一の温泉街とするため、湯のまち広場の「芦湯」や街路の整備など、温泉情緒を感じるまちなみを形成します。

○ 2023年度実施事業【あわら市】

- ・外国人観光客受入環境整備を支援(外国人観光客受入環境整備事業 100千円)

南北線の整備

多言語表記の整備

「芦湯」の整備

出所:「温泉情緒あふれる華やぎのあるまちづくりプロジェクト」(あわら市)

1-2(3) 吉崎周辺の活性化

主体	県・あわら市	場所	あわら市
事業費	約6.4億円	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 越前加賀県境の館の整備(加賀市・市、2015) 休校吉崎小学校利活用計画策定(市、2018) 吉崎まちあるきツアーの造成(市・民間、2019～) 道の駅「蓮如の里あわら」基本計画の策定(市、2021) 吉崎小学校を利用した全天候型遊戯施設「あそぼっさ」の開設(市・民間、2022) 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「蓮如の里あわら」の整備(県・市、～2023) 吉崎汀公園場内改修(市、～2023) 蓮如上人記念館の改修(民間、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺観光地との二次交通の充実 道の駅出荷者協議会の運営 サイクルツーリズムの推進 吉崎小学校を利用した全天候型遊戯施設「あそぼっさ」の運営

かつて県内有数の観光地であった吉崎に市北部の拠点となる道の駅を整備するとともに、市と地元関係者が一体となって吉崎及び周辺一帯の魅力度アップ・活性化を図ります。



道の駅蓮如の里あわら
(イメージ)



越前加賀県境の館



全天候型遊戯施設「あそぼっさ」

出所:「道の駅「蓮如の里あわら」基本計画」より(あわら市)

1-2(4) 東尋坊の景観形成

主体	県・坂井市・民間	場所	坂井市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の道路の石畳舗装や無電柱化(県、2011) ・観光交流センターの設置(市、2011) ・坂井あわらエリア周遊チケット造成・利用拡大(市・民間、2017～) ・東尋坊再整備基本計画策定(市、～2020) 		<ul style="list-style-type: none"> ・東尋坊エリアの再整備(県・市・民間、2020～) ・東尋坊～雄島～越前松島エリアの観光客受入環境整備(市、2020～)

県内最大の観光地である東尋坊において、県、坂井市、地元関係者が一体となって魅力度アップ・活性化を図り、再整備を行います。



出所「三国探索マップ」(坂井市三国観光協会)、坂井市ホームページより

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・坂井市が行う東尋坊活性化事業への支援(東尋坊活性化支援事業 222,572千円)
- 2023年度実施事業【坂井市】
 - ・東尋坊エリアの再整備(東尋坊再整備事業)
 - ・東尋坊～雄島～越前松島エリア観光客受入環境整備(観光地魅力向上整備支援事業)

東尋坊再整備基本計画

- ・東尋坊観光の拠点施設となるビジターセンターの整備
- ・バス、自動車など複数の移動手段の結節点となる交通ステーションの整備
- ・駐車場の集約・一元化
- ・既存商店街の再整備および新たな商店街の整備
- ・散策路の整備
- ・新たなアクティビティの創出



東尋坊商店街の再生(イメージ)



遊歩道やビューポイントの整備(イメージ)

1-2 (5) 三国湊の町家活用

主体	坂井市・民間	場所	坂井市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・道路美装化(市、~2014) ・古民家ゲストハウスや店舗(旧大木道具店等)、ポケットパーク等の整備(市、~2018) ・小松長生氏生家のリノベーション(民間、2015) ・アーバンデザインセンター坂井の整備(市、2017) ・えちぜん鉄道三国駅舎の改築(市、2017) ・三国駅前広場の整備(市、~2020) ・文化財保存活用地域計画の策定(市、~2022) ・みくに龍翔館(新名称:坂井市龍翔博物館)のリニューアル工事(市、~2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民家の修景支援(市、2006~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用事業の実施(市、2022~)

北前船の寄港地として栄えた三国湊において、町家を再生して趣を感じるまちなみを形成します。



坂井市全体の博物館として
みくに龍翔館をリニューアル

○ 2023年度実施事業【坂井市】

- ・坂井市龍翔博物館のリニューアルオープン
- ・文化財保存活用地域計画の事業実施

三国湊のまちなみ再生



アレックス・カー氏監修の古民家
ゲストハウス



えちぜん鉄道三国駅舎の整備

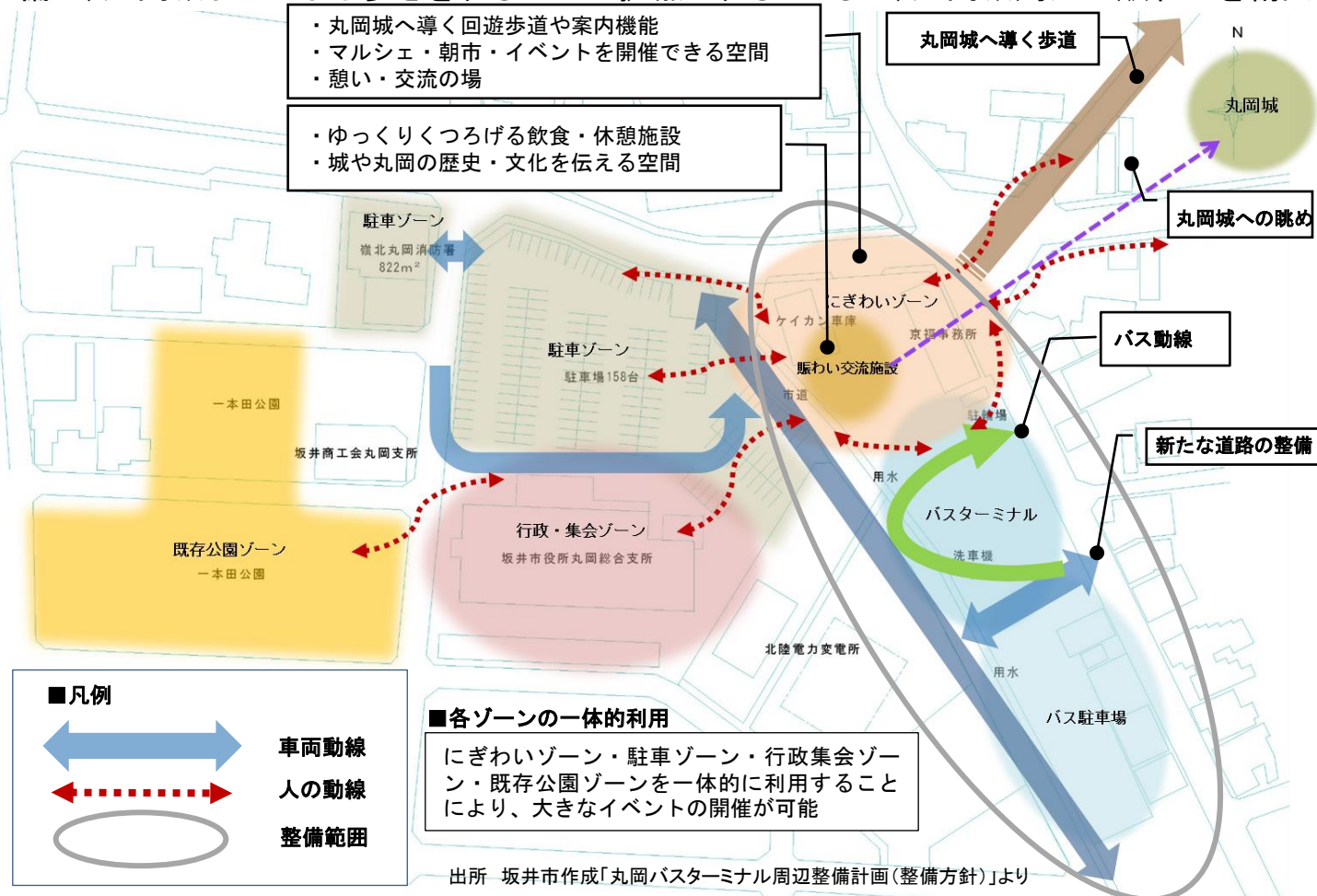
出所「三国湊町家活用プロジェクト」(坂井市)、「三国探索マップ」(坂井市三国観光協会)、
坂井市ホームページ

1-2(6) 丸岡城周辺の周遊化・まちづくり

主体	坂井市	場所	坂井市
事業費	約10億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 丸岡城の国宝指定に向けた調査(市、~2018) 丸岡バスターミナル周辺の整備(市、~2020) 丸岡城、天守前広場へのプロジェクトマップの整備(県・市、2020) 		<ul style="list-style-type: none"> 丸岡城周辺や城下町を含めた城郭全体の歴史的価値を高めるための調査研究の推進 丸岡城と丸岡バスターミナルを繋ぎ、街なか周遊の仕組みと賑わいの創出 丸岡城周辺整備事業(県・市、2022~)

丸岡城周辺や城下町を調査・研究し、城郭全体の歴史的価値を高めます。また、丸岡バスターミナルに交流施設や広場を整備し、丸岡城までのまち歩きをするための拠点とするとともに、丸岡城周辺に賑わいを創出します。



○ 2023年度実施事業【坂井市】

- 丸岡城周辺整備事業 (丸岡城周辺整備事業)
- 起業促進のための空き家改修 (空き家等改修事業)



丸岡城



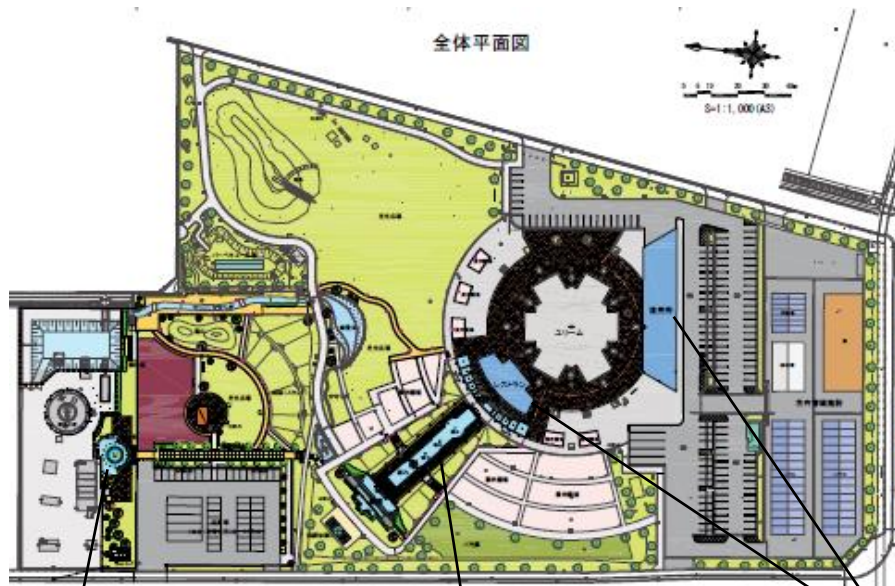
丸岡バスターミナルの賑わい交流施設

1-2 (7) パイプライン活用型の農業・園芸の拡大

主体	国・県・坂井市	場所	坂井市
事業費	約6億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜川下流地域パイプラインの整備 (国、～2015) ・ゆりの里園内水路や散策道、農産物直売所、レストランの整備(市、～2017) ・道の駅さかい農産物の情報発信ターミナルの整備(市、2019) ・福井県立大学創造農学科の開設(県、～2020) ・イルミネーションエリアの拡大、プロジェクトンマッピングの整備(県・市、2020) 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプラインを活用した米や園芸生産物の生産拡大とブランド化(県、2016～) ・キャベツ、ブロッコリー等の機械整備による儲かる園芸の拡大を支援(県・市町、2020～) ・ゆりの里公園内(調圧水槽含む)のプロジェクションマッピング及びライトアップの実施

パイプライン化の完了を受けて、高食味米の生産や水田園芸の拡大など、収益性の高い農業への転換を進めます。また、ゆりの里公園の調圧水槽をライトアップするとともに、農産物の直売所や農家レストランにおいて、地域の特産物を提供するなど、坂井エリア一帯のブランド化を推進します。さらに、道の駅さかいにおいて、直売所機能を拡充します。



出所 坂井市作成

- 2023年度実施事業【福井県】
- ・園芸産地の拡大、水田を活用した園芸スマート農業による水田農業の規模拡大などを支援(儲かるふくい型農業総合支援事業 213,387千円)
 - ・福井県立大学創造農学科での人材育成等(県立大学運営費交付金 162,235千円)



ライトアップされる調圧水槽や、水路内のイルミネーション



農産物直売所“ゆりいち”



レストラン“Café Lily”

○調圧水槽、公園内水路のライトアップ

○ゆりの里公園の園内整備
調圧水槽を活用した公園内の水路整備、散策道整備等

○農家レストラン、農産物直売所の整備